



2026年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社トランスジェニックグループ
コード番号 2342 URL <https://transgenic-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

<https://transgenic-group.co.jp/contact/>

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画 (録画) 配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	9,695	△1.1	104	—	93	—	28	—
2025年3月期第3四半期	9,807	0.7	△126	—	△162	—	△291	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 162百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △304百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	1.68	—
2025年3月期第3四半期	△17.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	10,338	5,004	47.8	296.80
2025年3月期	9,586	4,856	49.7	285.98

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,942百万円 2025年3月期 4,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,500	3.8	150	—	90	—	40	2.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	16,999,141 株	2025年3月期	16,999,141 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	345,922 株	2025年3月期	345,922 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	16,653,219 株	2025年3月期3Q	16,626,667 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、恒常的な物価上昇が家計の消費マインドの低下を招き、依然として景気は先行き不透明な状況が続いております。

創薬支援事業につきましては、株式会社トランスジェニックにおいて、従来の長期がん原性試験^{※1}と比較して短期間で発がん性の評価が可能となる「rasH2マウス^{※2}を用いた短期発がん性試験」や、2024年から受託開始した「中期皮膚発がん性試験」に加え「ラットを用いた中期大腸発がん性試験」の受託を開始するなど、高付加価値な新規サービスの拡充に努めました。また、受注試験の納期管理や事業運営の見直しによるコストの削減にも注力いたしました。この結果、前年同期比で大幅な増収になるとともに、損失は大幅に縮小いたしました。また、動物試験と細胞試験のデータを組み合わせた統合的な安全性・薬効評価サービスを構築し、開発初期段階から臨床試験計画策定に直結するエビデンスを提供できる体制を整えることを目的として、2025年7月に株式会社エーセルと業務提携を行いました。さらに、核酸医薬品開発における合成から臨床試験までを一貫して支援できる体制の構築等を目的として、2025年10月に北海道システム・サイエンス株式会社と業務提携を行い、今後の持続的な成長に向けて活動いたしました。

投資・コンサルティング事業につきましては、Eコマースによる小売販売は消費マインドの低下で苦戦し、卸売販売等の商社事業も売上高は伸び悩みましたが、価格転嫁やコスト削減に注力いたしました。このため、前年同期比で減収となりましたが、営業利益につきましては増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、9,695,228千円（前年同期比1.1%減）となりましたが、営業利益につきましては104,556千円の利益（前年同期は126,211千円の営業損失）となりました。経常利益につきましても、為替差益などの営業外収益40,911千円及び支払利息などの営業外費用52,440千円を計上した結果、93,027千円の利益（前年同期は162,083千円の経常損失）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益などの特別利益174,948千円、損失補償金、子会社の拠点集約に伴う事業再編損や子会社の試験データ不正に関する特別調査費用等などの特別損失193,828千円、法人税、住民税及び事業税47,436千円、過年度法人税等10,262千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失18,525千円などを計上した結果、28,015千円の利益（前年同期は291,664千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、前期からの繰越受注試験を予定通り完了させるとともに新規受注にも注力し、コスト面でも事業運営の合理化による削減を実施いたしました。この結果、売上高は1,435,117千円（前年同期比17.2%増）となり、前年同期比で大幅な増収となりました。また、営業利益につきましても126,502千円の損失（前年同期は329,683千円の損失）となり、前年同期比で大幅に縮小しました。

② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間は、持続的な物価上昇傾向の中で消費マインドが低下し、Eコマースによる小売販売は苦戦しましたが、価格転嫁や在庫管理の適正化、固定費のコスト削減に注力いたしました。卸売販売等の商社事業も売上高は伸び悩みましたが、価格交渉等による粗利率改善に注力し、利益の確保に取り組みました。この結果、売上高は8,265,297千円（前年同期比3.8%減）となり、前年同期比で減収となりましたが、営業利益につきましては369,849千円（前年同期比1.4%増）となり、前年同期比で増益となりました。

※1 がん原性試験は、化学物質や製品が発がん性を持つ可能性があるかどうかを評価するための試験です。

※2 rasH2 マウスは、人由来のがん関連遺伝子であるHRAS (c-Ha-ras) を組み込んだトランスジェニックマウスです。発がん性の有無の評価が可能で、医薬品や化学物質の発がん性試験に広く使われています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,317,668千円となり、前連結会計年度末に比べ618,771千円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が230,597千円、商品及び製品が288,754千円、仕掛品が222,909千円、前渡金が167,695千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が313,894千円減少したことによるものであります。

固定資産は3,020,368千円となり、前連結会計年度末に比べ132,865千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価評価等に伴い投資その他の資産が194,787千円増加した一方、固定資産の償却等により有形固定資産の建物及び構築物が38,928千円、のれんの償却等により無形固定資産が31,550千円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,125,875千円となり、前連結会計年度末に比べ853,798千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が545,000千円、1年内償還予定の社債が102,000千円、前受金が217,078千円それぞれ増加した一方、受注損失引当金が61,191千円減少したことによるものであります。

固定負債は1,208,102千円となり前連結会計年度末に比べ250,038千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が256,819千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,004,059千円となり、前連結会計年度末に比べ147,877千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を28,015千円計上し、投資有価証券の時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が144,591千円増加した一方、非支配株主持分が32,211千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予測につきましては、2025年6月16日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,555,397	2,241,503
受取手形、売掛金及び契約資産	1,195,011	1,205,843
電子記録債権	22,970	253,567
商品及び製品	1,348,725	1,637,480
仕掛品	796,709	1,019,618
原材料及び貯蔵品	76,516	93,398
前渡金	581,812	749,507
その他	128,020	123,427
貸倒引当金	△6,268	△6,678
流動資産合計	6,698,896	7,317,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,069,994	1,031,065
土地	917,473	917,473
その他（純額）	67,554	76,111
有形固定資産合計	2,055,021	2,024,650
無形固定資産		
のれん	531,780	496,134
その他	22,143	26,238
無形固定資産合計	553,923	522,373
投資その他の資産		
投資有価証券	107,693	312,868
その他	181,476	172,209
貸倒引当金	△10,612	△11,733
投資その他の資産合計	278,557	473,344
固定資産合計	2,887,503	3,020,368
資産合計	9,586,399	10,338,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	413,459	450,036
未払金	223,351	228,557
短期借入金	680,000	1,225,000
1年内償還予定の社債	14,000	116,000
1年内返済予定の長期借入金	524,659	503,699
未払法人税等	51,661	66,389
前受金	1,020,758	1,237,836
賞与引当金	69,688	21,908
受注損失引当金	61,989	797
その他	212,508	275,648
流動負債合計	3,272,076	4,125,875
固定負債		
社債	109,000	50,000
長期借入金	1,247,401	990,582
退職給付に係る負債	68,774	69,202
その他	32,965	98,317
固定負債合計	1,458,140	1,208,102
負債合計	4,730,217	5,333,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,857,377	3,856,375
利益剰余金	927,674	955,690
自己株式	△116,016	△116,016
株主資本合計	4,719,036	4,746,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,817	163,408
為替換算調整勘定	24,657	33,142
その他の包括利益累計額合計	43,474	196,550
新株予約権	200	200
非支配株主持分	93,470	61,259
純資産合計	4,856,181	5,004,059
負債純資産合計	9,586,399	10,338,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,807,689	9,695,228
売上原価	8,099,922	7,857,020
売上総利益	1,707,767	1,838,208
販売費及び一般管理費	1,833,979	1,733,651
営業利益又は営業損失(△)	△126,211	104,556
営業外収益		
受取利息	258	1,907
為替差益	20,784	21,175
受取保険金	4,040	3,399
貸倒引当金戻入額	4,806	—
その他	5,074	14,428
営業外収益合計	34,963	40,911
営業外費用		
支払利息	27,182	36,341
買収関連費用	27,705	—
その他	15,947	16,099
営業外費用合計	70,835	52,440
経常利益又は経常損失(△)	△162,083	93,027
特別利益		
固定資産売却益	294	—
投資有価証券売却益	—	137,520
受取保険金	21,645	—
受取補償金	—	10,596
過年度消費税等戻入額	—	26,832
特別利益合計	21,940	174,948
特別損失		
固定資産除却損	5,658	—
事業再編損	—	34,599
損失補償金	—	124,716
退職給付費用	32,884	—
特別調査費用等	—	34,512
特別損失合計	38,543	193,828
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△178,687	74,147
法人税、住民税及び事業税	42,773	47,436
過年度法人税等	—	10,262
法人税等調整額	76,097	6,958
法人税等合計	118,870	64,657
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,557	9,489
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,892	△18,525
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△291,664	28,015

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△297,557	9,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,409	144,591
為替換算調整勘定	2,175	8,484
その他の包括利益合計	△7,233	153,076
四半期包括利益	△304,791	162,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,898	181,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,892	△18,525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	100,397千円	79,175千円
のれんの償却額	38,462	35,646

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創業支援事業	投資・コンサル テイング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,220,334	8,587,354	9,807,689	—	9,807,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	246	4,746	△4,746	—
計	1,224,834	8,587,601	9,812,435	△4,746	9,807,689
セグメント利益又は損失(△)	△329,683	364,792	35,109	△161,321	△126,211

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,321千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創業支援事業	投資・コンサル テイング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,430,617	8,264,610	9,695,228	—	9,695,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	686	5,186	△5,186	—
計	1,435,117	8,265,297	9,700,414	△5,186	9,695,228
セグメント利益又は損失(△)	△126,502	369,849	243,347	△138,790	104,556

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△138,790千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。